



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

第310号

柏崎市立第三中学校

令和5年2月28日 発行

〒945-0845 柏崎市新赤坂一丁目2番10号

☎23-2821

FAX 20-4413

E-mail daisan@kenet.ed.jp

ホームページ <https://www.kenet.ed.jp/daisan/>

自分の居心地の良さは、誰かの居心地の悪さになっていないか？

校長 柴野 太

国民的ロックバンド ^{バック ナンバー} back number の「水平線」と言う楽曲が話題になりました。その曲がリリースされた2020年8月は新型コロナウイルス感染症大流行の ^{ま ただなか} 真っ只中。その影響でインターハイが中止になってしまい、涙を飲んだ高校生がたくさんいました。その高校生たちに向けて作られた楽曲だといわれています。

歌詞の中に ^{す あわ かな}♪ 透き通るほど淡い夜に あなたの夢が一つ叶って 歓声と拍手の中に ^{かく} 誰かの悲鳴が隠れている ^{ぎ せい}♪ という一節があります。勝者がいれば敗者がいます。誰かの成功は誰かの犠牲 ^{かいしゃく} の上に成り立っているのかもしれませんが、世の中の無情を表すかのようなこの歌詞を聴くと、とても切なくなります。そして、学校生活に重ねて考えてみたとき、はっとしたことがありました。

学校は互いを認め合い、補い合って集団生活を行う場です。心の居場所として、皆が気持ちよく過ごせるよう、学級づくりを基盤としながら、より良い学校づくりに努めています。

しかし、一人一人が違う人間である以上、考え方や感じ方が違います。バラバラな個性が一つにまとまることは簡単なことではありません。だから、皆でスローガンを考え、目標として掲げたりして、同じ方向に向かって気持ちを一つにします。それが団結力や絆づくりにつながり、様々な活動に生かされます。しかし、忘れてはならないことがあります。

例えば、クラスの目標を「明るく楽しいクラス」とします。明るく元気で、この目標にぴったりの考え方や行動ができる人もいれば、気持ちはあっても、にぎやかなことが苦手で、うまく表現できない人もいます。心の速度は決して同じではありません。無理矢理その速度を上げさせるようなことは避けなければならないのです。想像力を働かせ、声なき声に耳を傾けることが大切です。「自分の居心地の良さは、誰かの居心地の悪さになっていないか」という視点をもつことがとても大切なのだと思います。 ^{バック ナンバー} back number の「水平線」の歌詞からそんなことを気付かされました。

「自分の気付かない場面で他人を傷つけてはいないだろうか？」
そう自問自答する人が増えるだけでも、世の中が少し優しくなるのではないかと思うのです。



2年生 修学旅行（広島・京都）

— 三中生の活躍 —

【第49回柏崎室内陸上競技記録会】

[女子]50m1位 須貝理央 800m5位 佐々木愛菜 走高跳1位 小関結愛 2位 渡邊波瑠 走幅跳6位 小瀧結彩
[男子]50m7位 星野綾汰 1500m1位 池田直大 棒高跳2位 片山航祐 立三段跳2位 沖郁

【第28回柏崎・刈羽小中学生書初大会】 新潟日報社賞 大場茉愛 正舟書道会会長賞 川崎成依

【第43回書写技能認定書初め会】会長賞 小瀧結彩

【第63回新潟県児童生徒絵画・版画コンクール】

特選 小俣優心 金賞 片桐彩莉・片山慶一郎・大場茉愛・渡辺旺佑

【柏崎市教育委員会表彰】 競技者賞 須貝理央 文化賞 品田玲菜

【柏崎賛歌】最優秀賞 品田玲菜

【第72回“社会を明るくする運動”中央推進委員会作文コンテスト】

優秀賞全日本中学校長会会長賞 新潟県優秀賞 柏崎刈羽地区ト推進委員会会長賞 品田玲菜

多くの賞を受賞しました品田さんの作文の全文を掲載します。

勇気の道しるべ

「優しい子だと思っていたんですけどね。」

ニュースでよく聞く、罪を犯した人への印象を話した言葉だ。

私は、この言葉に疑問を感じる。「優しい子」だったのなら、非行に走ったり、警察に捕まるほどの事はしないのではないだろうか。そもそも、悪い考え自体、そんな子には浮かばないのでは、と。テレビや新聞には、毎日と言っていいほど、悲しい事件が報道される。私は、どんな事件にも、犯人はなんて恐ろしい人なんだ、と無条件に決めつけてきた。しかし、優しい人がする犯行とは、なんだろうか。するのであれば、なぜ、そんな人が罪を犯してしまうのだろうか。私には、そのことについて心当たりがある。

雲行きが怪しい日、私は、祖母と外食に出かけた。久しぶりに祖母に会えて、浮かれた気持ちでいた。店内には家族連れなどがいて、結構混んでいた。雰囲気も良く、その中にいた、何も気に留めなかった人達の中に、あんな事をしてくる人がいるとは、誰も思わなかった。食事を終えて店を出たとき、空は黒く、雨が降り始めていた。私達は持ってきておいた傘で、歩いて帰ろうとした。……しかし、傘がない。忘れたはずがない。慌てて周囲を見渡した。すると、私の傘を差して歩いて行く人が、遠くにいるではないか。緊張した。声も足もでなかった。半分諦めて、ぼんやり自分の傘を見ていた。その時だった。

「ちょっと、それうちの傘!」

祖母は、いつもの穏やかな声からは到底想像ができないような、張り上げた言葉を放った。遠くの人が驚いて振り返った。私も驚いた。大声に、と言うより、犯行を止めるという行動にだった。同時に、あの人が逆上して襲ってきたらどうするんだと思った。しかしそんな事はなく、怯えた様子で、ごめんなさい、とその人は私に傘を返した後、足早に去っていった。今思えば、祖母があの場合にいてくれて良かった。祖母がいてくれなければ、傘を盗まれて、もやもやした気持ちで一日を終えなければいけなかっただろう。そして、傘を盗んだ人も、「優しい人」に、成り下がってしまっていただろう。

その後、雨の中を歩きながら、祖母はこんな話をしてくれた。

「ああいう、生き方が分からなくなってしまう人はたくさんいる。そのもどかしさや苛立ちを、悪いことで発散しようとするんだ。一度してしまったら、やるのに抵抗感も無くなっていくし、それで社会に認められなくなって、生

きづらくなる。そしてまた悪いことを繰り返す、嫌なループができてしまうんだ。」私の傘を持って歩いて行く人のことを思い出した。なぜか気弱そうな、寂しい背中を記憶していた。祖母は続けた。

「そういう人こそ、生きづらさを知っているんだから、優しくなれると思う。ループから抜け出す正しい道を教えて、受け止めて、許すことが私達にできること。」

はっとした、そして考えた。テレビに映る、パトカーに乗った、暗い顔をした人達。少し生き方が違えば、優しくなれた人達だったのだ。少しの声の有無で、道を間違えてしまうのだ。しかし、その後その人がどうなるかなんて、私達には決められない。結局はその人の人生だから。祖母の話聞いて、罪を犯してしまう心理が少し分かった気がした。

そして祖母は、悪いことが起きた時には、いつも笑って、私にこう言う。

「いい子でいてね。」

その言葉を聞くと、犯罪を身近に感じずにはいられなくなった。それはどこか遠いところで起きることではなく、もっと近くの、周りの人がしてもあり得ることだと感じた。

自分にも、生き方が分からなくなる時が来るだろう。その時、人に声をかけられて気づく前に、自分からできることは何か、考えた。それは、周りに相談することだと思う。思い起こして見れば、今自分の周りには、家族、友達、先生、悩みを話せる人達がたくさんいる事に気づく。一人で抱え込まず、周りに相談することで、きっと少しは楽になれるはずだ。そして、悩んでいる人に気づき、声をかけることも大切だと思う。たとえ、罪を犯そうとする人でも、犯した人でも、「怖い人」と決めつけずに、人生に気づきを与えることができれば、社会はもっと明るくなれると思う。

もうこれ以上、優しい人が、「優しくった人」にならないように、私は、少しの勇気で道を教えられるように、必ずなりたい。

ようこそ三中へ!

1月27日に新入生の体験入学が行われ、来年度入学予定の小学校6年生が来校し、1年生の教室で体験授業を受け、その後生徒会本部からクイズ形式で三中の説明を受けました。来年度の部活動を中心に校長先生からのお話もあり、終始真剣な表情で参加していました。



第2回学校運営協議会

7月の奨学会会報でお伝えしましたとおり、本年度柏崎市教育委員会よりコミュニティースクールのモデル校の指定を受け、活動を行ってきました。8月の第1回に続き、2月16日に今年度のまとめの会議(学校運営協議会)が開かれました。参加された方々から、三中生の様子については「授業態度が真剣でよい」「地域でいつもあいさつしてくれる」等のお話しを、三中への要望としては「地域の若者が少ないので、行事に参加してほしい」「地域を守る防災学習を進めてほしい」等のご意見をいただきました。



大成功の修学旅行!

「青春の3日間～平和を学び、歴史をめぐり、仲間と楽しみ、未来へ繋ぐ～」をスローガンに2月19日～21日の日程で、2年生の修学旅行が行われました。広島・京都を学年・学級・班単位で見学し、深く学びました。



いよいよ卒業です

<愛校活動>

2月22日の6,7限に3年生が「愛校活動」として、教室・廊下・トイレなど日頃自分たちが使用している場所の清掃を行いました。



<同窓会入会式>

2月24日の1限に同窓会長・副会長・PTA会長様をお迎えし、同窓会入会式を実施しました。同窓会長様より、三中の歴史や伝統についてお話しをいただき、PTA会長様より卒業記念品として、証書ホルダー、印鑑が贈られました。



PTA運営委員会

今年度のPTA活動を締めくくるPTA運営委員会が2月24日に行われ、今年度の活動の報告がなされました。役員の皆様1年間ありがとうございました。また、R5年度の役員として、会長に三浦岳大さん、副会長に宮嶋麻美さん・村山克己さん・千原恵里香さんが選出され、他の役員も承認されました。

<お知らせ>

3月6日(月)より5限授業、16日(木)より4限授業となります。

授業時数確保にメドが立ったことと、年度末の事務処理の時間確保が理由です。

令和5年度の年間行事予定を配付しました。

今後変更になる可能性がありますことをご承知おきください。

<これからの予定>

月日	予定	月日	予定
3月 2日(木)	マインドチェック 卒業式予行演習	3月 23日(木)	公立高校二次試験
3日(金)	第75回卒業式	24日(金)	終業式・離任式
6日(月)	5限授業(～15日)	27日(月)	公立高校二次試験合格発表 春季休業(～4月6日)
7日(火)	公立高校一般入試 学習の確認 奨学会評議員会	4月 6日(木)	新入生事前登校日
10日(金)	代議員会	7日(金)	始業式・入学式
14日(火)	生徒朝会	12日(水)	生徒会入会式
16日(木)	公立一般入試合格発表 4限授業(～23日)	18日(火)	PTA役員全体会・運営委員会
		28日(金)	授業参観・PTA総会・部活保護者会

※3月、4月は口座振替を行いません